

【単元のポイント】

分数のたし算・ひき算

5年生 算数 第10単元

学習指導要領（平成29年告示）の目標

【A 数と計算】 A(4) 分数の計算

異分母の分数の加法及び減法の計算がされること。

◆ 評価の3観点における目標

【知識・技能】

- 通分の意味と方法を理解している
- 異分母分数のたし算・ひき算ができる
- 約分の意味と方法を理解している

【思考・判断・表現】

- なぜ通分が必要かを説明できる
- 計算結果を約分する必要性を判断できる

【主体的に学習に取り組む態度】

- 分数の計算に進んで取り組もうとしている
- 日常場面で分数を活用しようとしている

◆ 指導上の留意点

1. 通分

- 分母が異なる分数を、同じ分母にそろえること
- 分母の最小公倍数を共通の分母にする
- 例： $\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{3}{6} + \frac{2}{6} = \frac{5}{6}$

2. 約分

- 分子と分母を同じ数で割って簡単にすること
- 最大公約数で割ると一度で約分できる
- 例： $\frac{6}{8} = \frac{3}{4}$

3. 帯分数と仮分数

- 帯分数： $1\frac{2}{3}$ のように整数と真分数の和
- 仮分数： $\frac{5}{3}$ のように分子 \geq 分母の分数
- 計算では仮分数に直すと便利

4. つまずきやすいポイント

- 通分せずにそのまま計算してしまう
- 約分を忘れる、または不完全な約分
- 帯分数の整数部分の処理を間違える